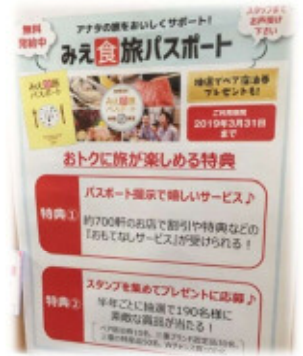


平成 29 年 9 月



◀宇治浦田観光案内所(伊勢神宮内宮近く)の様子



「みえ食旅パスポート」利用促進プロジェクト



▲8月12日パスポート臨時発券業務



▲8月1日三重県観光局観光誘客課の方との打合せ

「三重食旅パスポート」利用促進PJの今年度の活動としては、三重県庁の荒川様をお呼びしての学生とのディスカッションと三重食旅パスポートの発給体験である。

ディスカッションを通して、三重食旅パスポートについて見えたことは、若年層の利用率の低さであった。平成29年度6月現在においてパスポート発給数は273,131部、スタンプリリー達成者数は15,018人であるが、20代から30代の割合はこのなかのわずか16パーセントしかない。その理由として、学生からは、三重県のインフラ問題、景品が若年層にとって魅力がないこと、パスポートの携帯性の問題が挙げられた。

宇治浦田観光案内所でのパスポート臨時発給体験では、午前中の間という短い時間でありながら、お盆という時期に助けられ、約250冊のパスポートを発給することができた。パスポートを観光案内所に訪れた人達にティッシュ配りのようにパスポートを発給していたのだが、驚くことに断られたことはまったくなかった。

伊勢神宮という日本が誇る観光地の一つでの活動は、観光業が地域活性に及ぼす可能性を感じさせたが、その影響が伊勢神宮周辺に限られている現状を実感させた。

また、パスポートの発給ではコミュニケーション能力が必要され、宇治浦田観光案内所の方との実力差を顕著に感じさせられた。

今後の活動としては、学生が実際にパスポートを利用した、フィールドワークと学生がプロデュースする「伊勢志摩エリア限定のみえ食旅パスポート」の作成が計画されている。